起業支援プログラム

提出時には青字のコメント・例示・ガイドラインは削除してください。

京都大学・三菱商事Startup Catapult （第１回）

申請書　兼　プロジェクト実施計画書

申請日：令和　　　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| プロジェクト名 | 10～50字を目安に記載してください。 |
| 事業領域 | ライフサイエンス |
| 非ライフサイエンス（非ライフサイエンスの場合、下記の事業領域もチェックする）  （ エネルギー　 素材　 食料　 情報通信　 モビリティ　 その他） |

【研究代表者】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属部局 | [例]医学研究科 | 予算管理部局※ |  |
| 職名 |  | | |
| 氏名 |  | | |
| ℡№ |  | | |
| E-mail |  | | |

* 兼務などにより所属部局と異なる場合のみ記入してください。

該当する申請区分の「□」にレ点を入力してください。

【事業化プロデューサー】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 区分A | 企業名 |  | | |
| 代表者名 |  | | |
| 所在地 |  | | |
| ℡№ |  | | |
| E-mail |  | | |
|  | 区分B | 氏名 |  | | |
| 住所 |  | | |
| ℡№ |  | | |
| E-mail |  | | |
| 職業 |  | 所属/役職 |  |
| 京都大学での勤務開始可能日（雇用希望の場合） | | | 令和○年○○月○○日 |

|  |
| --- |
| 1. プロジェクトの概要 |

* プロジェクト（研究開発内容、事業化推進内容）の概要が分かるように、300文字程度で簡潔に記載してください。

|  |
| --- |
| * 本プロジェクトで実施する事業化に向けた研究開発、ならびに起業に向けた事業推進活動のエッセンスを記載してください。その際、起業による事業化（商品やサービス等の売上が計上されてビジネスが成立すること）を目指すことを意識して記載してください。 |

|  |
| --- |
| 1. 技術シーズの内容・特長 |

* 下記の（１）～（５）について、必要に応じて図表やデータを用いて記載してください。

1. 社会課題

|  |
| --- |
| * 本プロジェクトを立ち上げるきっかけとなった未だ解決されていない社会課題について、これまでの歴史や社会的背景に触れながら記載してください。 |

1. これまでに得られている研究成果

|  |
| --- |
| * 上記の問題点を解決するために、これまでに得られた本プロジェクトの前提となる研究成果について、**図表や実験データをもとに**、定量的、具体的に記載してください。 * また、技術シーズの属する技術分野の背景や動向（現状の問題点）を踏まえ、本プロジェクトの技術シーズの特長（既存の技術に対する**革新性・優位性・独創性**）を記載してください。 |

1. 技術開発の競争環境について、競合する類似研究・先行技術等の状況分析

|  |
| --- |
| * 比較対象となる研究内容、又は先行技術の文献・特許等の公開情報に関する内容について、出典を明示して記載してください。現時点で直接的に比較できる対象がない場合、将来、競合となりうる関連または周辺技術、代替技術等の脅威について記載してください。また、短期的及び中長期的に、競合との競争環境がどのような状況となるか、可能な範囲で予測、検討して記載してください。 |

1. 企業とのアライアンスなど

|  |
| --- |
| * 本プロジェクトに関して、すでに企業などと協力関係（共同研究の実施やライセンス契約等）にある場合は、その内容を可能な範囲で箇条書きしてください。 |

|  |
| --- |
| 1. 知的財産権 |

* 本プロジェクトにおける基本特許・ノウハウなどの知的財産を記載してください。基本特許・ノウハウなどが複数ある場合は、適宜表を増やしてください。未出願の場合は、出願番号、出願日、出願人の欄は空欄で結構です。
* ノウハウなど、特許に代わる知的財産の確保を検討している場合は、産官学連携本部の担当者にご連絡ください。

【本プロジェクトにおける基本特許】  有　　無

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 発明の名称 |  | | |
| 出願番号 |  | 出願日 | 令和　　　　　年　　　月　　　日 |
| 出願人 |  | | |
| 発明人 |  | | |
| 国際ステータス | 有　　無 　（「有」の場合、主要移行国：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | |
| 発明の概要 |  | | |

【周辺・関連特許】  有　　無

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 発明の名称 |  | | |
| 出願番号 |  | 出願日 | 令和　　　　　年　　　月　　　日 |
| 出願人 |  | | |
| 発明人 |  | | |
| 国際ステータス | 有　　無 　（「有」の場合、主要移行国：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | |
| 発明の概要 |  | | |
| 基本特許に対する  位置付け |  | | |

【事業化に向けての知的財産戦略】

* 事業化（起業）に向けての知財戦略を記載してください。なお、本プログラム開始時点で基本特許を保有していない場合は、当該技術シーズの知財化についての検討状況、出願準備状況などを記載してください。

|  |
| --- |
| * 発明者に第三者が含まれている場合は、本プロジェクトにおいて設立するベンチャー企業（「区分A」の場合は事業化プロデューサーが代表を務める企業）に対してライセンスを実施することにつき同意を得ているなど、事業化にあたって懸念がないことを示してください。 |

|  |
| --- |
| 1. 事業化のビジョン |

* 設立するベンチャー企業（区分Aの場合は事業化プロデューサーが代表を務める企業）の事業化ビジョンについて、下記の（１）～（４）を必要に応じて図表やデータを用いて具体的に記載してください。

1. 想定する製品・サービス

|  |
| --- |
| * **想定する具体的な応用分野**、**想定している顧客用途**、**想定される顧客の使用機会**などについて記載してください。 |

1. ビジネスモデル

|  |
| --- |
| * 現時点で想定しているビジネスモデルの概要について記載してください（図表などを用いても可）。 * **想定する製品やサービス**を、**「誰に」対して提供する**ことで対価を獲得し、顧客や社会の**どのような「課題」を解決するのか**を記載してください。 |

1. 市場規模及び獲得予定の自社シェアについて

|  |
| --- |
| * 設立するベンチャー企業がマーケットインする市場について、できる限り出典や積算根拠などのエビデンスを明らかにしながら、**「市場規模」**と獲得を目指す**「シェア」**を記載してください。 |

1. ビジネスロードマップ

|  |  |
| --- | --- |
| 起業予定時期（区分Bの場合） | 令和　　　　年　　　　月頃（本プログラム開始後3年以内） |
| 【全体事業計画】   * マーケットインするまでのロードマップを、ステージごとの資金調達や、設立するベンチャー企業の売上規模なども示しながら記載してください。 | |

1. 本技術シーズの社会実装の方法として、ベンチャー企業の設立を選択した背景、理由

|  |
| --- |
| * 企業との共同研究や知財のライセンスによる社会実装ではなく、起業による事業化を目指す理由について、大学発ベンチャー企業の設立にかける熱意や決意などに触れながら、具体的に記載してください。 |
| 1. 本プログラムでの取組内容と成果目標 | | |

* 本プログラムでの取組内容と成果目標を、研究開発面と事業化推進面に区別して具体的に記載してください。なお、成果目標は、本プログラム終了後に達成度が確認できるように設定してください。

【取組内容と成果目標】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 取組項目 | 取組内容 | 成果目標 |
| [研究開発面] | | |
| ①見出し |  |  |
| ②見出し |  |  |
| ③見出し |  |  |
| [事業化推進面] | | |
| ④見出し |  |  |
| ⑤見出し |  |  |
| ⑥見出し |  |  |

* 行が不足する場合は、適宜追加してください。

【本プロジェクトの実施計画】

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施内容 | R5  10月 | 11月 | 12月 | R6  1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| [研究開発面] | | | | | | | | | | | | |
| ①見出し |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ②見出し |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ③見出し |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| [事業化推進面] | | | | | | | | | | | | |
| ④見出し |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ⑤見出し |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ⑥見出し |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

* 「見出し」の内容は、項目５における「見出し」の内容と一致させてください。また、行が不足する場合は、適宜追加してください。

|  |
| --- |
| 1. 実施体制 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 所属 | | 役割・分担  （具体的に記入すること） |
| 機関（企業）名・部局（部署）名 | 職名 |
| [研究開発] | | | |
| ○○　○○ | 京都大学　○○研究科 | 教授 | 研究代表者 |
| 採用予定者 | 京都大学　○○研究科 | 技術補佐員 | データ解析 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| [事業化推進] | | | |
| ○○　○○ | ○○株式会社 | 代表取締役 | 事業化プロデューサー |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

* 行が不足する場合は、適宜追加してください。

|  |
| --- |
| 1. 必要経費 |

* 公募要領（別表）「起業支援プログラム 京都大学・三菱商事Startup Catapult 助成対象経費一覧」を参照し、下記の「必要経費一覧表」を作成してください。なお、**合計額は2000万円以内**とします。研究室で使用する経費のみ計上可能であり、申請者区分Aの企業や、新たに設立されたベンチャー企業の事業活動に充当する費用（人件費・施設利用料・光熱費・展覧会出展料等）には支出できません。
* 経費執行においては、予算管理部局の経理ルールに従ってください。
* 設立したベンチャー企業や申請区分Aの法人を相手方として業務委託、物品購入する場合は、必ず経費執行前に利益相反マネジメント室にご相談ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 【必要経費一覧表】 | | | 金額単位：千円 |
| 区分 | 費目 | 金額（税込） | 資金使途・内訳 |
| 物品費 | 設備・備品費 | 0 | [例]□□装置：○○千円、□□□：○○千円 |
| 材料・消耗品費 | 0 |  |
| 人件費 | 人件費・諸謝金 | 0 | [例]□□員（○名×○か月×○千円/月）：○○千円  [例]△△謝金（○名×○時間×○千円/時間）：○○千円  【注】採用予定者は「８．実施体制」欄にも記載してください。 |
| 旅費 | 旅費 | 0 | （国内旅費）  [出張目的]（「地名」○名×○千円×○回）：○○千円  （外国旅費）  [出張目的]（「国名」出張○名×○千円×○回）：○○千円 |
| その他  諸経費 | 業務委託費 | 0 | □□にかかる業務委託（業務委託先）：千円 |
| 通信運搬費 | 0 |  |
| 印刷製本費 | 0 |  |
| 賃借料 | 0 | [例] □□施設使用料：○○千円、△△リース料：○○千円 |
| 光熱水費 | 0 |  |
| その他経費 | 0 |  |
| 合計 | | 0 | 合計欄にカーソルを置いて右クリックし、「フィールド更新」を押してください。 |
| 1. 研究費などの応募・受入状況 | | | |

* 「分担者」として参画している場合は、研究費欄に受入中または受入予定の令和5年度、もしくは申請中の初年度の分担者として経費執行できる金額を記載してください。

【受入中または受入予定の研究費など】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　金額単位：千円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| № | 資金制度/研究費名 | 研究課題名 | 本年度研究費 |
| 配分機関名/企業名 | 本プロジェクトとの研究内容の共通点もしくは相違点、及び起業支援プログラム京都大学・三菱商事Startup Catapult による助成が必要な理由 |
| 研究期間 |
| 役割（代表/分担） |
| ① | 科研費　基礎研究A |  | 0 |
| 日本学術振興会 | [例]上記研究課題は・・・・・・・・・を目的としており、・・・・・・・・・を目的としている起業支援プログラム京都大学・三菱商事Startup Catapult とは異なる。 |
| 2022.4-2023.3 |
| 役割選択 |
| ② |  |  | 0 |
|  | [例]上記研究課題は、今回申請している起業支援プログラム京都大学・三菱商事Startup Catapult と・・・・・・・・・・という目的は共通しているが、起業支援プログラム京都大学・三菱商事Startup Catapult では・・・・・・・・・・を行い、事業化に向けた研究開発を実施したいため。 |
|  |
| 役割選択 |
| 合計（合計欄にカーソルを置いて右クリックし、「フィールド更新」を押してください） | | | 0 |

【現在申請中の研究費など】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| № | 資金制度/研究費名 | 研究課題名 | 初年度研究費 |
| 配分機関名/企業名 | 本プロジェクトとの研究内容の共通点もしくは相違点、及び起業支援プログラム京都大学・三菱商事Startup Catapult による助成が必要な理由 |
| 研究期間 |
| 役割（代表/分担） |
| ① |  |  | 0 |
|  |  |
|  |
| 役割選択 |
| ② |  |  | 0 |
|  |  |
|  |
| 役割選択 |
| 合計（合計欄にカーソルを置いて右クリックし、「フィールド更新」を押してください） | | | 0 |

【他の起業支援プログラムの採択実績】 有　　無

* 本プロジェクトと同じ申請テーマで、過去に「旧プログラム（ＧＡＰファンドプログラム）」や「KSAC GAPファンド」に採択されたことのある申請者は、下表をご記入ください。なお、旧インキュベーションプログラムもしくはIPG-Advanceに採択実績のあるプロジェクトは、本プログラムには申請できませんのでご注意ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 採択プログラム名 | 採択時期 | プロジェクト名 |
| GAPファンドプログラム | 採択時期 |  |
| KSAC GAPファンド | 採択時期 |  |

|  |
| --- |
| 1. 本プロジェクトとベンチャーキャピタルなどからの既投資対象テーマとの区分に関する説明 |

* 申請者区分Aの法人で、既にVCなどから出資を受けている場合にのみ記入してください。
* 既にVCなどから出資を受けている場合、下記①及び②に該当する場合のみ本プログラムへ申請が可能です。

1. 本プログラムで実施する製品・サービスなどの研究開発や事業化活動（本プロジェクト）が、VCなどから出資を受けた資金で実施している製品・サービスなどの研究開発や事業化活動（投資対象テーマ）と明確に区別することができる。
2. VCなどが出資した資金の使途が、投資対象テーマに限定されている（既投資金について、使途が限定されていることが確認できる資料の提出を求める場合があります）。

* 本欄では、本プロジェクトと投資対象テーマの相違点、もしくは、VCなどからの投資金の使途が投資対象テーマに限定されていることについての説明を記載してください。

金額単位：千円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ベンチャーキャピタルなどの名称 | 投資実行日 | 投資額 | 本プロジェクトと既投資対象テーマとの区分及び既投資金の使途が限定されていることに関する説明 |
|  |  | 0 | [例]  本プロジェクトは○○に関する研究と△△の開発を対象としているが、□□ベンチャーキャピタルから投資済みの資金については、投資契約において■■に関する研究開発と、これを活用した☆☆サービスの事業化に使途が限定されている。したがって、本プロジェクトと既投資対象テーマの区分は明確であり、かつ、VCからの投資金は投資対象テーマに限定されている。 |
|  |  | 0 |  |

1. 部局会計担当者

* 所属する部局の共通事務部（共通事務部がない場合は部局事務部）に記載を依頼してください。
* 採択が決定しましたら、採択後の手続きについて、寄附金受入のご担当者へ連絡します。

【部局会計担当者（寄附金受入担当）】

|  |  |
| --- | --- |
| 会計担当部署 |  |
| 会計担当者 |  |
| 内線番号 |  |
| E-mail |  |

以上

以下の項目は、審査により採択されたプロジェクトにおいて、該当する場合のみご記入ください。

|  |
| --- |
| 条件付き採択の場合、審査結果通知書に記載されている条件内容をそのまま転記してください。 |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
| 採択条件や審査委員の助言により、申請書の記載内容を加筆・修正した場合、その内容を記載してください。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 加筆・修正項目 | 加筆・修正内容 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |